



第41号
題字 佐田一郎

発行/前橋商工会議所青年部(緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番地の1 編集/青年部総務広報委員会
TEL 027-234-5111 FAX 027-234-8031 URL <http://www.maebashi-yeg.com>

代表幹事の一年を振り返って



前橋商工会議所青年部

代表幹事 山岸直樹

平成十五年度、商工会議所青年部の代表幹事は、私には過ぎたる大役でありましたが、皆様の多大なるご協力のもと重責を果たすことができました事をまずもって心より感謝申し上げます。

社会情勢は、イラクや北朝鮮の問題、鳥インフルエンザやBSE、治安の悪化や行き過ぎた個人主義など色々な不安要素を沢山含んでおり、まさに何があってもおかしくない様相です。そのような中、景気はやや上向いているとのことですが、なかなか実感が伴わないのが実情です。そんな夢の持ちにくい閉塞感に覆われている時だからこそ、地域を活性化し良くしている時だからこそ、地域を活性化し良くしている時だからこそ、青年部の活動がより必要とされ、活かされるようであります。自らを良くし発展させようと思えば地域社会を良くしなくてはならないという事があります。

本年度も大変多くの事業を行なってきました。それぞれの事業に沢山の思いと多くの課題があり、一つ一つが大変勉強になりました。素晴らしい経験となりました。

特に思い出深いのが雨による順延をさせられた「前橋花火大会」でした。八月十五日に想像以上に多くの人が照準を合わせて動いて

いる事の驚きと開催についての決断をしなくてはならない責任の大きさを感じ、翌日に実行させて頂きました。まさに生きた勉強になりました。また、「前橋まつり」では、「ある人にとって良いことが、他に良いとは限らない。」といった当たり前で初歩的な事を解決することが実は非常に難しいことと実感しました。本年度は、各関係者のご尽力により土曜日の午前中より祭りが始められたことで、わずかながら時間的余裕が持てたことは特筆すべきことと思います。祭りに限ったことでは無いのですが、今年の十二月に行なわれる市町村合併を街づくりの観点から青年部が積極的に推進していく中で、合併後の文化的交流をいかに図っていくべきかを良く考えなくてはならないと思うと共に青年部がそこで果たす役割は大きいと感じました。それには、会員相互のコミュニケーションをより深め、参画する意識を高め、自らのポジションを理解し積極的に行動することだと思えます。

結びに、この一年間ご指導ご協力を頂きました関係各位の皆様重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

直前代表幹事の一年と 卒業にあたり一言



直前代表幹事
小曾根 英明

緑水会にお世話になり十四年間、すばらしい仲間と出会え、すばらしい経験をさせてもらい心から感謝申し上げます。十四年間を振り返ると、いろいろな事が心深く思い浮かんできます。

特に、前橋商工会議所青年部創立二十五周年の代表幹事を務めさせてもらったのは、私にとつて大変光栄であり貴重な経験を得ることが出来ました。改めて皆様に感謝申し上げます。今後はぜひ、後輩の皆様の手で、三十年、五十年と歴史を作り上げていってほしいと思います。いつの時代も、歴史は変革に対応していく若者の手で創られて行くものだと思います。格好や理屈ではなく、自らの行動で突き進んでください。『会員同士の連携・地域との連携・作り上げよう元気な前橋』、この言葉を残させてもらい、チャレンジする事を忘れず頑張ってください。

最後に、会議所の職員の皆様から感謝を申し上げ、卒業にあたりましての挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。

“後輩の皆様、是非、全国大会を誘致して下さい!!”

副幹事の一年を振り返って



副幹事
嶋田大和

平成十五年度の緑水会の事業も、山岸代表幹事を中心として、会員の皆様の活躍と事務局のご協力により、無事終了しようとしております。本当に、私たち中小企業をとりまく経済状況がまだまだ低迷している中、貴重な時間を緑水会活動に割り当てていただきまして、誠にありがとうございました。今年度で五委員会すべての活動を経験させていただきましたが、あらためて緑水会の活動の幅広さ・奥深さを感じました。各委員長の尽力はもとよりのこと、委員会に所属の一人一人が熱意をもって活動していただいている。このことよって成り立っていると、あらためて感じました。私も、緑水会を通じて人とのつながり、企業経営者としてのつながり、前橋の経済人としてのつながりなど、多くを学ばせていただき、感謝しております。個人では、また一企業ではなかなか経験できないことを、この緑水会という看板のもとで有意義に体得して欲しいと思います。

最後に、会員の皆様、この一年間ご協力ありがとうございました。

副幹事の一年を振り返って



副幹事
長谷浩克

今年度も三月となり、年度末をむかえました。一年を振り返ってみると、観桜例会から始まり様々な緑水会の行事等があり、また、緑水会の行事以外にも、花火大会・前橋祭りの実行委員会やライトアップ実行委員会など、多くのことにかわることが出来ました。一市民としては、なかなか経験できないことも、緑水会に籍をおくことにより経験ができ、また、副幹事という立場を頂いたことにより経験することが出来ました。今後必ず役に立つものと思いい感謝しております。

次に緑水会の運営を振り返ってみますと、昨年は十名以上の多くの先輩が卒業され、しかも卒業された方々が、皆さんの中心となつて活躍した方ばかりであったため、今年度の運営にやや戸惑いや不慣れな点が見られるのではないかと思わないでもありませんでした。しかし、特に新しく理事になられた方の積極的な行動により、杞憂に終わったと思います。例年になく役員会の出席率が高いところにメンバーの意気込みが感じられたように私は思っております。

これからも一歩でも二歩でも前進し、自分にとっても緑水会にとっても、また地元前橋にとってもよい活動にしていけるよう心がけていきたいと思ひます。

副幹事の一年を振り返って



副幹事
石井繁紀

今年度、山岸代表幹事より副幹事を仰せつかり、無事大過なく務め上げさせていただきました。事柄ができましたのも、本部役員、会員、そして事務局の皆様の協力ご支援によるものと深く感謝申し上げます。初めての副幹事ということで、当初は緊張してのスタートでしたが、経験年数の多い地域開発委員会の担当をさせていただき、とまどうことなく務めることが出来ました。とはいえ、今までのように委員という立場ではなく、広い視野から見方、会全体として見るといったような見方の難しさを感じた一年でもありました。地域開発委員会の皆様におかれてましては、国際交流イベント、地域振興例会と新しいイベントを起こし、多大な尽力で運営されたことに対し感謝御礼申し上げます。

五月の県青連、関東ブロック大会、二月の県青連主催の伊勢崎での講演会などへも参加し、本部役員として他の単会との交流など、緑水会を通じてまた新たな出会いや発見もありました。

今後とも、緑水会活動を通じて、多くの経験を積み、多くの新たな仲間との出会

会いを大切にし、更なる自己研鑽に努めて参りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。一年間、大変お世話になりました。

相談役の一年を振り返って



相談役
田中一幸

県連の直前会長という立場で、一年間青年部の相談役という席に置かせていただき、本当にありがとうございました。

昨年、卒業式を迎え、諸先輩からは『まだ現役?』と言われながら、一年間御世話になりました。また、事務局の皆様にも大変御世話になりました。ここに以前聞いた言葉を残し私の贈る言葉と致します。

人生八変化

- 自分が変われば 相手が変わる。
- 相手が変われば 心が変わる。
- 心が変われば 態度が変わる。
- 態度が変われば 行動が変わる。
- 行動が変われば 習慣が変わる。
- 習慣が変われば 人格が変わる。
- 人格が変われば 運命が変わる。
- 運命が変われば 人生が変わる。

皆様の今後益々の御活躍を期待

すると共に、前橋商工会議所青年部のさらなる発展をお祈り致します。永い間、本当にありがたございました。

監事の一年を振り返って



監事 渡邊 敏彦

月日が経つのは早いもので、現・山岸代表幹事から、この役職をやつてもらえませんかと内示されてから、もうこの年度も閉じようとしています。お引受するに該り、監事講評で何を言うか喋るか、わかりませんよ、と言いましたら、それでも拘りません、ということでしたので、承諾いたしました。

今年度となり、監事としての私の第一声を記憶されておる方はおりますでしょうか。予算ありきの事業運営なのか、事業遂行のための予算編成なのか、果たと私は記憶していません。また、監事としての抱負ということで記させていたのは、決算の評定だけでなく、諸行事にできるだけ参加出席しての監査をしたいものだったと思ひ返します。実際は、仲々このようにはできませんでしたが、これは私の不徳のいたすところで、申し訳なく存じております。

山岸代表幹事の行われたコミュニケーションの執り方は、誠に青年経済人らしい意を得、理にも適ったものであります。

た。表裏一体でも申しますか、とても快よい風が吹きましたし、さりとてさぶるような波は立ちませんでした。絶妙な均衡であったと思うのは私一人だけでしょうか。

何はともあれ、一年間、監事として、人が人を、人の活動を審理する難しさを学ばせていただき、ありがたうございました。会員皆様方の、更なる御活躍を期待しております。

監事の一年を振り返って



監事 原澤 康隆

平成十五年度の前橋商工会議所青年部におきまして、監事を一年間つとめさせて頂きました。皆様のご協力により、この一年間を無事に過ごさせて頂きましたことを感謝申し上げます。また、山岸代表幹事のもと、本会に監事として関わられたことに御礼申し上げます。

監事は青年部に於ける、ご意見番、助言係り、また青年部の文化を若手への伝承する役目にあると思っております。自分自身を振り返ってみると、本年度の青年部の事業になかなか参加できず、また、青年部若手とのふれあいの場が少なかつた事で、監事本来の職務をあまり達成できなかつたと反省しております。

現役の皆さんには、青年部の事業、各委員会の事業を見直して、青年部独自の

特色有る事業を皆さんの力で伸ばしていくことを期待いたします。卒業後に於きましても陰ながら応援していきたいと思ひます。青年部の益々のご発展を期待しております。

総務広報委員長を振り返って



総務広報委員長 町田 憲昭

総務広報委員長に就任させて頂いたにあたり、「任された仕事はきつちりやる」、また、「コミュニケーションを大切にし、人を活かす」という基本方針を念頭に置き、一年間の活動を始めました。私自身はもちろんのこと、各委員が緑水会に所属する意義を見出し、そこに喜びを感じ、多くのことを共有し、共に成長していける仲間達である、という雰囲気づくりを心がけました。特に、委員全員が役員会を身近に感じて、毎月真剣にサポートしていくということ、大きなテーマのもと活動をしてまいりました。

心残りとして、山荘計画を結論づけれなかったことがあります。しかしながら、経験した多くの感動と、委員全員との一体感を得た喜びとが、今の私に、他には得難い充足感を与えています。そして、特に三人の副委員長に、それぞれの個性を活かして活動していただき、この一年をつつがなく終了できました。事務

局並びに、ご協力いただいた全ての方に感謝申し上げます。最後に、山岸代表幹事に、このような経験不足な男を総務広報委員長という大役に起用していただき、多くの感動を味あわせていただきましたことを、ここに心より御礼申し上げます。

会員交流委員長を振り返って



会員交流委員長 伴 卓

二度目の委員長も残すところわずかなつてまいりました。今年度は、公私にわたり色々な出来事がありました。その度に緑水会の皆様に支えていただいたと感じています。卒業された先輩方を含めメンバーの皆様へ、また事務局の皆様へ、あらためて感謝申し上げます。

さて、今年度は二度目の委員長でしたが、メンバーの半数以上が新入会員という他の委員会とは少しばかり雰囲気の違いが委員会でした。幸い、経験豊富な理事の方々にも恵まれ、また謙虚な中にも実行力のある新入会員のおかげで無事一年間の事業を終了できました。新入会員の皆さんには、一年間の委員会活動を通じて、少しでも得るものがあつたと感じていただけたら嬉しく思います。

最後になりますが、今年一年、当委員会の事業にご参加ご協力いただきましたありがとうございます。

経営研究委員長を振り返って



経営研究委員長
前田 修

時が経つのは早いモノで、経営研究委員長を仰せつかったから一年が過ぎようとしています。

年度初めには色々な夢や豊富を胸に抱き、委員長として本当に何処までやれるのかと不安も沢山ありましたが、実際にはそんな事を考える暇もなく次々と目白押しに襲いかかる委員会事業や例会・前橋まつりなどと無我夢中で各行事に取り組んでいた様な気がします。

しかし、当委員会の行事が盛況に終了する事が出来たのは、委員会メンバーを始めとして、諸先輩方に支えてられたからだと思います。多大なるご協力を頂きました皆様に改めてお礼を申し上げます。

微力で無力な自分ではありませんでしたが、緑水会を通じて色々な人と出合う事ができ、そして仲間の大切さ・尊さを十分に痛感させられた一年でありました。一言に「委員長！大変だな？」と思っていた自分でしたが、今はこの経験を通じて「やっつて良かった」と実感しております。是非、会員メンバーの皆さんも一度は体験してみても如何でしょうか？

地域開発委員長を振り返って



地域開発委員長
飯塚 輝明

山岸代表幹事のもと、緑水会の皆様の大変な御協力と御理解を頂き何とか一年間委員長を勤めさせて頂くことが出来ました。本当に有難う御座いました。役員の皆様、委員会のメンバーには驚くほど多くの心配とご迷惑をおかけいたしました。本当に温かく支えて頂きました事、大変に感謝しております。

突然の国際交流事業、鍵山秀三郎氏を招いての「掃除に学ぶ会」、前橋祭りでのだんべえ踊り部会、そして地域のメンバーでやってきた事を再確認する意味での企業視察見学会。その一つ一つの事業が、大変ではありましたが、日常には無かった語れぬほど多くの事を勉強させて頂きました。石井・稲村両先輩委員長のもと楽しく有意義に地域の三年間を過ごせたのも幸せなことで、当委員会委員長を務められた事が誇りです。

緑水会活動の幅は広く、委員長に初めて知る事ばかりでした。皆様も機会があれば是非委員長はやるべきです。得るものが多いことは保証します。このチャンスを与えて頂きました山岸代表幹事、本当にありがとうございます。

事業推進委員長を振り返って



事業推進委員長
丸田 大介

まず、今年度の事業推進委員会担当行事が無事終了したことを御報告いたします。

年度初めの『ローズ・クイーンコンテスト』ですが、初めて未成年(当時)の学生二名選出ということで正直『大丈夫だろうか?』と心配しましたが、三名が仲良く一生懸命頑張ってくれました。共催いただいている観光協会や出演依頼先からも『今年のローズは本当に良く頑張ってくれた』とお褒めの言葉を頂戴し、一年間頑張った三人に感謝しています。

また、当初予定しておりました『海外視察研修』(中国・大連)ですが、新型肺炎(SARS)の影響で中止となつてしまいました。委員長二年目の気の緩みで『少し様子を見れば大丈夫だろう』と早急に対策を練らず、参加を楽しみにされていた方々に申し訳なく反省しています。

二年間事業推進委員会の委員長を経験し、正直毎回毎回楽しい事ばかりではありませんでした。特に今年度は、ローズとチャリティーゴルフ二つの事業を担当したため、三五月は週二日事務局に通う日々でした。しかし、山岸代表幹事・嶋田担当副幹事をはじめとする本部役員

の皆様、委員会のメンバー、青年部委員の皆様、そして事務局の方々のお陰でなんとか乗り切ることができました。心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

卒業会員より一言

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 監事



渡邊 敏彦

二十三年間余りが長いか短いか、時折の心裡情態によつて、どちらにもなるかな、そんな感じがしております。

今だから言えますが、入会当初は先輩諸兄を目標にし、いつかは追い越してやるみたいな気負いからか、数々の無礼を働らき、改めて紙面を借りて陳謝いたします。

入会翌年、父の告別式に際し、ナベちゃん、これからだよ(これからだね)、とボンと肩をたたいてくださった今はもう物故会員となられてしまった先輩の一言を、いつとはなく思い出して奮起していた頃もありました。また、この青年部でのいろいろな行事への参加に思い巡らしますと、各行事とも緑水会にないければ体験できなかったろうし、その行事すらしらないでいた諸行事をすることがで

き、大変有意義でありました。更に、視察研修や関東ブロック大会、全国大会で日本全国を廻る機会を与えられ、これらからもいろいろな経験を参加することで積ませていただきました。現役会員の皆様は、まだまだ機会がありますので有効に活用してみたいかがでしょうか。

私の今までの人生の期間としては約半分ですが、人生形成では七割に近いウェイトを占めており、緑水会に在籍させていただいたお蔭様で、今日現在の私があると感じております。御世話になりました。

卒業にあたり一言
前橋商工会議所青年部 監事



原 澤 康 隆

前橋商工会議所
青年部に平成八年
に入会して、約八
年。瞬く間に時が
過ぎ去りました。

この間、四委員会を経験いたしました。先輩方に緑水会で、青年部の事業の事はもちろん、色々な面で教えて頂きました。会員同士はもちろんのこと、先輩方との人脈、宴会での作法など、本会でなければ教えて頂けなかった事がたくさんあったように思えます。

卒業という言葉に自分の歳をあらためて思うこの頃です。卒業した後も仲間として、宜しくお付き合いさせて頂ければ幸いです。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 理事



中 島 次 夫

平成十一年六月
に緑水会に入会以
来、短い期間でし
たが、皆様には公
私共々お世話にな
り、大変に充実しま
した。勉強させてい
だいた期間でした。卒業は、まだまだ先
の事と思っておいたが、いざ自分の番
となつてみて、時のたつのが早いこと
を実感しています。最初は右も左も分
らず、諸先輩の皆様いろいろな教えて
いただきました。素晴らしい先輩達に
囲まれて緑水会活動が生活の一部にな
りました。最後に緑水会の益々の発展
と皆様の挨拶とさせていただきます。
有り難うございました。

「なんて寂しいのだろう！前橋の夜の町が恋しい！」何時でも誘ってください。お待ちしております。

卒業にあたり一言

前橋商工会議所青年部 会員



宇 貫 昌 人

平成七年緑水会
に入会させていた
だき八年が過ぎ、
卒業を迎えまし
た。

この間多くの方々と出会い、貴重な体

験をさせていただきありがとうございました。

人前に入るのが苦手な私でしたが、緑水会での八年間で変わることが出来たと
思います。

この経験を財産とし、今後の人生において生かして行く所存であります。

今年も平成の大合併の年であり、緑水会にとっても変革の年、現役の皆様におかれましてはいろいろとご苦労があるうかと存じますが、益々のご活躍を期待しております。

最後になりますが、事務局の皆様いろいろとありがとうございました。



卒業生旅行 (博多)

新入会員紹介

平成十五年四月から十六年三月までの新入会員です。

町 田 洋 平



入会
平成15年4月4日
会員交流委員会
(株)プランニング

佐 藤 奈 奈 美



入会
平成15年4月4日
会員交流委員会
井口工業(株)

横 山 貴 一



入会
平成15年4月4日
会員交流委員会
(株)群馬銀行本店

阿 久 津 洋



入会
平成15年5月6日
会員交流委員会
利根電気工事(株)



篠澤 英樹

入会
平成16年2月4日
会員交流委員会
(有)梅原印房



本多 秀彰

入会
平成16年2月4日
会員交流委員会
(株)レストランスワン



池津 崇延

入会
平成15年10月6日
会員交流委員会
富士工営(株)



宮下 博和

入会
平成15年6月2日
会員交流委員会
(株)上信



倉林 健

入会
平成15年5月6日
会員交流委員会
(有)おおとね
花ショップ



鳥越 淳司

入会
平成16年3月2日
会員交流委員会
相模屋食料(株)



新井 義宗

入会
平成16年3月2日
会員交流委員会
群央繊維工業(株)



小林 宏親

入会
平成16年3月2日
会員交流委員会
群馬ヤクルト販売(株)



新井 信行

入会
平成16年2月4日
会員交流委員会
リシカール
ビジネスファーム(有)



新井 豪

入会
平成16年2月4日
会員交流委員会
(株)JTB前橋支店

第12代ローズ・クイーンの 一年を振り返って



ローズ・クイーン
に選ばれてから早くも一年がたとうとしています。学生の時期にこのような機会を与えていただき、様々な職種や年齢の方々とお会いすることができたこと、そして前橋市の観光発展に微力ながら貢献できたことを本当に嬉しく思っています。

また、私の未熟さ、社会人としての責任、行動の仕方などローズ・クイーンにならなければこの時期に気づかなかったことも学ぶことができました。

この経験を生かし、これからも更に成長できるよう努力していきたいと思えます。最後に、関係者の方々、温かく見守ってくださった方々に心よりお礼申し上げます。どうもありがとうございました。



一年間、ローズ・クイーンとして多くの活動をさせていた中で、たくさんの方に会い、普段ではできない様々な貴重な体験をすることができました。

作法・マナー・歩き方からメイクに至るまで細かくご指導いただいた研修。バラの花に囲まれながらのバラ園まつり、体中に響く大きな音と大きさに息

をのんで見つめた大花火、飛び散る汗と活気と笑顔の中で踊り続けただんべえ、はっぴとねじり鉢巻姿で担いだお神輿。

一年を通じ前橋のイベントに参加することで、改めて前橋の素晴らしさを知り、前橋がますます好きになりました。今後も積極的に参加し、前橋を盛り上げて行きたいと思っています。

最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



山本有沙

第12代ローズ・クイーンに就任してからはや一年。この一年間は私にとってまさに、出会い、の一年間でした。これまでのどの行事行事を思い起こしてみても、それはいつも素晴らしい出会いから始まっていたように思えます。私は、そこから多くを学び、支えられ、ローズ・クイーンとして、ひとりの女性としても成長できたことを、今、確信しています。

いつも近くで見守って下さった丸田委員長をはじめ、多くの機会を与えてくださった山岸代表幹事、衣装を担当して下さった事務局の方々、所作・メイク指導の神宮先生、反町先生、そして、同期として共に歩んだ須田さん、磯さん……。新しい私に出会わせてくださった数え切れない全ての方々に、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。一年間、ありがとうございました。